

財政健全化計画・中長期財政運営指針

～持続可能な財政運営のできる南九州の地方拠点都市を目指して～

薩摩川内市は、本市を取り巻く厳しい財政状況を考えて、これからの安定した財政基盤の確立と住民サービスの維持を目指し、財政健全化計画・中長期財政運営指針を策定しました。ここではその概要をお知らせします。

Q1 なぜ、財政健全化計画・中長期財政運営指針を策定したのですか？

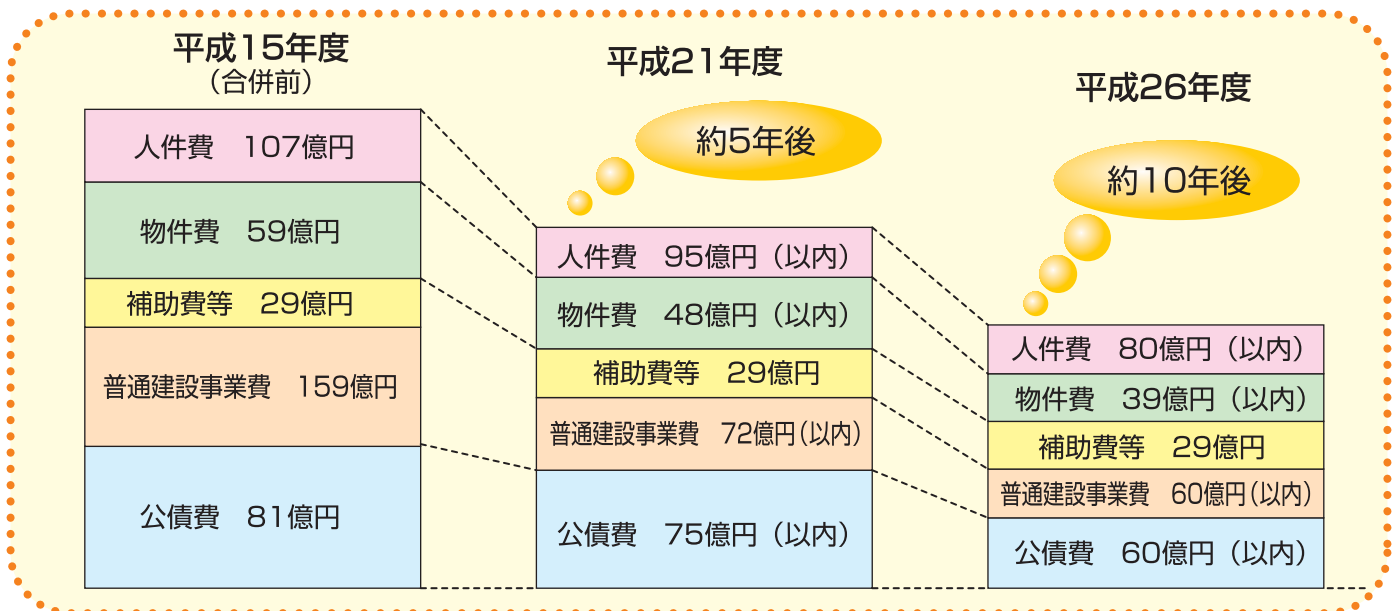
総務省は、三位一体改革に関連し、昨年開催された経済財政諮問会議に提出した資料の中で、歳出の見直しや歳出のさらなる合理化を明確に示しており、地方交付税も当然に縮小の方向にあるため、今後、

全国の市町村はより厳しい財政運営を迫られます。限られた財源の中で、これからも市民サービスを維持し、安定的な発展を目指すためには中長期財政運営指針に基づく徹底した行財政改革が必要です。

Q2 財政健全化計画・中長期財政運営指針の目標財政指標は？

財政健全化計画・中長期財政運営指針の目標財政指標は、今後10年間の財政改革の指針となるもので、次のとおり定めました。今後は、この指針に定める

目標達成へ向け、徹底して歳入歳出を見直すなど行政の効率化を目指すとともに、市債残高の削減を進めます。



目標	合併前	合併後	
	15年度	21年度	26年度
普通会計市債残高	662億円	570億円	430億円
公債費負担比率	17.2%	21.0%以内	16.0%以内
経常収支比率	90.1%	86.0%以内	80.0%以内

用語解説

普通会計市債残高

地方公共団体の全ての会計から水道事業などの公営企業会計、国民健康保険や介護保険等の特別会計を除いた会計上の累計市債残高です。

公債費負担比率

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合をいいます。

警戒ライン
15%

危険ライン
20%

経常収支比率

経常的な経費(人件費や公債費など)の経常的な一般財源収入(地方税など)に対する割合です。

警戒ライン
80%

Q3 今後の取り組みについて教えてください

多様化する市民ニーズに的確に対応しながらも最少の経費で最大の効果をあげるという基本的な方針に立ち、健全で安定的な財政運営の推進を目指します。これからも中長期的な視点に立った財政計画の

策定や事業別コストの把握、市民への説明責任の向上を図るための貸借対照表(バランスシート)の作成などを行ってまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。